
サイヤコ

流麗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サイヤコ

【コード】

N4130H

【作者名】

流麗

【あらすじ】

サイヤコオンリーテキストです。

嘘つき

「酷いな ヤコは…」

怪盗Xは不機嫌そうに眉根をよせた

「俺はだあいすきなのにヤコは嫌うんだ」

ばかばかしい

本当にばかばかしい

「愛してるのに ヤコったら」

嫌い嫌い嫌い嫌い

こんな人

「目も合わしてくれないの？」

あんなに愛し合った仲なのに？」

愛し合った仲だからこそよ

あんたは私を裏切った

うっすらと騙してきたんだね

だから もう挽回なんかできないの

彼は私を愛してないから

「ヤコ俺が嫌いなの？」

ええ 大嫌い

「ネウロのところへ行っちゃうの?」

「私はもともとネウロ側にきまつてるでしょ」

ああ 言っちゃった

でも おあいこだよね

あんたはIがすき

二人そろってX Iだもの

私がいいる幕なんてないんだ

「ネウロのこと好きになったの? わかった俺の顔をネウロにしよ
つか

そしたら...」

「そんなのネウロじゃない」

そんなの 必要ない

私を愛していないあんたも必要ない

「どうして! じゃあどうしたらっ

こんなにこんなに思ってるのに」

勘違いやろう

あのドS魔人より勘違いやろうだ

彼はちゃんと私を見てくれた

ずっと

「私を代わりにしないでよ私は桂木弥子 あなたの思っているものとはちがうわ」

もうこれきり彼と逢う気はない
永遠に

「さよなら」

私は彼を愛した

彼は私を愛さなかった

ただそれだけ

でも 最後のプライドで私からふらせて

きつとこれからすごい後悔にさいなまれると思っけど
それがきつとあなたの幸せ

だから私は我慢できるの

大好きだよ サイ

それでも世界は廻る

彼がこの世から消えて一月がたつ

相変わらず世界は動いている

「あんなに国際ニュースになったのにね
サイ…」

もうその話は過去になっている
この世界にとつたら

だけど私は過去にしない

できない

大好き

今だって ずうっと

だけどあなたは最後までアイさんのことばかり
でも仕方ない

大好きだからさ

あなたが

あなたが消えたこの世界でも私は生きていけるんだ

俺が死んでから一月か
はやいね月日って
でもたった一月であんな事件のこと忘れちゃうなんて人間ってすげ
いな

ああ俺も人間だっけ

悔いなんかない

あるのは最後に彼女：ヤコをみたのは泣き顔だったこと

「笑顔が見たかったのに」

最後まで彼女はネウロばっかりだった

そんなに好き？

ごめんね

俺がelevenだったとき

あんたの大切な大切なネウロ傷つけちゃって

不可抗力だよアレ

彼女の時計はまだ動いている

彼女の時間はすすんでいる

「かなしいな」

俺だけで逝かなくちゃならないんだ

でも 愛してるよ

ずうっと 約束通り

約束なんてしてないけど
自己満足だけど

大丈夫だよきつと
ネウロもいるし彼女はきつとこれから無事

心配ない
後悔なんてしない

でも ただ一つ
彼女と人間として
並んで歩きたかったよ

人として
その他大勢にかこまれながら
デートしたかった

でもそれは俺のワガママだから
叶わなくてもいいんだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4130h/>

サイヤコ

2010年10月8日22時39分発行